

# 中国語専攻

中国語学習を通じて、中国および中国語圏諸地域の言語、文化、社会についての高度な知識を得たいと考え、そのために深い探究心をもって問題にとり組み、中国語で積極的に学習や研究の成果を発信することを目標とするような学生を求めています。



外灘から望む浦東のビル群（上海）

あなたが大阪大学に入学してまず会う中国語は、世界一の13億の人口、世界第3位の広さの国土、56の民族、それに伴う数十の言語をもつ中国と、世界中に広がる華人社会の共通語である言語です。

1年次では、「听」(きく)、「说」(はなす)、「读」(よむ)、「写」(かく)の各技能を総合的に学び、この言語の世界に、どっぷり浸かることになります。

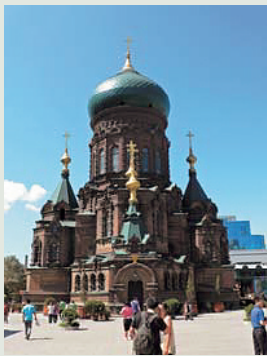
2年次以降は、みなさんの志向次第で、次に挙げるような、さまざまな「中国語」を学びつつ、中国のいろいろな側面に触れることができます。

まず、現代中国の言語・文学・歴史・政治・経済・社会などを学ぶ手段としての中国語。これを学ぶことで、前掲の学問分野に対する基礎的な知識が身につくとともに、あなたの中国語は、より幅広く、知的なものになるでしょう。

また、共通語とはかなり異なった方言である広東語は、あなたの中国語に対する知識を多角的なものにするための、また、独自の歴史・民俗・風土などを知るための、最良の足がかりとなってくれるでしょう。

あるいは、近代から遙か古代へと遡っていく、歴史的な中国語もあります。これを通して、あなたの中国への視点は、時間的な奥行きをもつことでしょう。

3・4年次では、ゼミに所属します。あなたが「どのゼミにしようか」と悩むとき、あなたは、きっと、それまで学んだ、さまざまな中国語が、ゼミでの多様な専門分野の学習に不可欠であったことを知り、今までのハードな勉強は、このためであったかと達成感を覚えてくれるものと、わたしたちは期待しています。



聖ソフィア教会（ハルビン）

## 「ニィハオ」 你好

学生の声



3年 原田 真歩

私が考える中国語専攻の魅力は、「実践の機会が非常に多い」ということです。会話の授業はもちろんのこと、この専攻語では、在学中に3回（上海・北京・台湾）海外研修に行けるチャンスがあります。私は1年生の時、上海での研修に参加しましたが、授業で習ったことを使って、一人で買い物ができる時は本当にうれしかったです。中国と日本は距離的にも近く、飛行機代も高くないので、個人的に旅行に行く友達も沢山います。

日本を出なくても、中国語を使う機会は沢山あります。大阪大学には非常に多くの中国人・台湾人留学生が所属しており、キャンパスを歩いているだけで簡単に出会うことができます。彼らと互いに勉強し合ったり、文化について話したりするのは、良い刺激となります。

また、中国語劇団という、中国語で演劇を行う劇団もあります。セリフを幾度となく練習したり、セリフに合わせて効果をつけたりと、中国語の総合的な力が鍛えられます。また劇によっては歴史背景や、中国人らしいリアクションも学べるので、中国文化も知ることができます。さらに近年は海外へ出張公演もしており、昨年は台湾大学、一昨年は北京大学で公演を行いました。

以上のように、中国語専攻には様々な形で中国語に触れる機会があります。またそれを通して中国の文化も体感することで、言語だけでなく多角的に中国を見られることが、中国語専攻の魅力ではないでしょうか。



留学体験記



4年 西野 伶美

私は大阪大学の交換留学制度を利用して現在台湾にある国立台湾大学に留学に来ています。これを書いている今、五月の半ばなのであと一か月半ほどで日本に帰ります。

私は一年生の夏休みに台湾に旅行した時にこの大学を知って交換留学を決めました。

私の取っているクラスはすべて中国語で開講されていて、初めの方はついていくのが大変でした。正直なことを言うとうと留学が終わりがかけている今でも聞き取れないことがあります。ですが中国語に囲まれて過ごした約一年で、言語面でもその他の面でもたくさん成長しました。

台湾大学は台湾一の国立大学で勉強にはもってこいの環境です。また、台湾は食べ物がおいしくて、特に台北はどこでも地下鉄が通っていて交通の面でも大変便利です。比較的日本人の過でしやすい場所だと思います。台湾は小さい国で、政治的にも複雑な事情がありますが親日の方が多いことには変わりありません。そして、こちらが理解しよう、学ぼう、という姿勢で向き合えば、さらに多くのことを学び、台湾の事を好きになることができます。

どれだけ素敵な国でも、旅行と違ってその土地に住むわけですから、壁にぶつかることもあります。たくさん悩んだり泣いたりしましたが、ここでの毎日はキラキラ輝いていましたし、ここに来られたことは一生の財産です。

これから大阪大学で学ぶ皆さんが世界のどこかで輝く日々を過ごせますように！



中国語専攻ホームページ

<http://www.sfs.osaka-u.ac.jp/user/chinese/web/>